

2017 年

論文・著作

- 稲葉由之, 「国勢調査に基づく災害対策の指標に関する研究」, 総務省統計研修所リサーチペーパー第 38 号, 1-23 頁.
- 稲葉由之, 「攪乱的方法を用いて作成する匿名データに関する基礎研究」, 総務省統計研修所リサーチペーパー第 39 号, 1-17 頁.
- 稲葉由之, 「労働統計の見方」, 『統計』第 68 巻第 9 号, 40-45 頁.
- 赤井久宣, 石田和彦, 稲垣誠一, 稲葉由之, 今井洋夫, 勝浦正樹, 菊地進, 桑原廣美, 小山亮一, 近藤登雄, 西郷浩, 佐々木仁, 樋田勉, 徳井丞次, 長岡貞男, 大戸隆信, 星野光秀, 山沖義和, 山口幸三, 吉田嘉雄, 今村由希子, 和田澄子, 和田弘, 『統計でみる日本 2018』, (執筆担当箇所: 第 15 章「労働・賃金」162-175 頁), 日本統計協会.
- 福田慎一, 粕谷宗久, 慶田昌之, 「企業家精神と設備投資—デフレ下の設備投資低迷のもう一つの説明—」『フィナンシャル・レビュー』第 132 号, 109-128 頁.
- 福田慎一, 粕谷宗久, 中島上智, 「非上場企業におけるコーポレート・ガバナンス」福田慎一編『金融システムの制度設計』第 4 章 83-121 頁, 有斐閣.
- 児島秀樹, 『経済史の種 I』, 学文社.
- 児島秀樹, 『経済史の種 II』, 学文社.
- 小林健太郎, 中田勇人, 「八王子市のプレミアム付商品券事業の経済効果」, 『まちづくり研究はちおうじ』第 12 号 1-11 頁.
- 金井篤子編集, 岡田昌毅, 尾野裕美, 波田野匡章, 他 16 名, 『シリーズ心理学と仕事 11 産業・組織心理学』(執筆担当箇所: 第 2 章「人事の心理学 現場の声 1 人事の仕事①人を採用する(採用選考)」), 北大路書房.
- 上野清貴編集, 小野正芳, 吉田智也, 市川紀子, 島本克彦, 本所靖博, 竹中輝幸, 望月信幸, 加瀬きよ子, 島崎杉雄, 堀江優子, 中野貴元, 石山宏, 原田隆, 浅野千鶴, 金子友裕, 加瀬豊, 畑下裕雄, 新谷幹雄, 一瀬善彌, 『現場で使える簿記・会計』(執筆担当箇所: 第 10 章「資金計画と資金繰り表」), 中央経済社.
- Saori Ihara, Yukihiro Yazaki, “Determinants of Public Service Broadcasting Size,” *Economics of Governance* 18(2), pp. 129-151.
- Shinya Kajitani, Kei Sakata and Colin McKenzie, “Occupation, Retirement and Cognitive Functioning,” *Ageing & Society* 37(8), pp. 1568-1596.
- Shinya Kajitani, Colin McKenzie and Kei Sakata, “Use It Too Much and Lose It? The Effect of Working Hours on Cognitive Ability,” *Panel Data Research*

Center at Keio University DISCUSSION PAPER SERIES, DP2016-008.

- Shinya Kajitani, Colin McKenzie and Kei Sakata (2017) “Use it Too Much and Lose Everything? The Effects of Hours of Work on Health,” *Panel Data Research Center at Keio University DISCUSSION PAPER SERIES*, DP2016-009.
- Shinya Kajitani, Keiichi Morimoto, Shiba Suzuki, “Relative Performance Information Feedback and Just-Pass Behavior: Evidence from a Field Experiment,” *Graduate School and School of Economics, Meisei University, Discussion Paper Series*, no. 36.
- Iwaisako Tokuo, Hayato Nakata, “Impact of exchange rate shocks on Japanese exports: Quantitative assessment using a structural VAR model,” *Journal of The Japanese and International Economies* 46, pp.1-16.
- Keiichi Morimoto, Takeo Hori, Noritaka Maebayashi, Koichi Futagami, “Debt Policy Rules in an Open Economy,” *Journal of Public Economic Theory* 19 (1), pp. 158-177.
- Keiichi Morimoto, “Further Results on Preference Uncertainty and Monetary Conservatism,” *Graduate School and School of Economics, Meisei University, Discussion Paper Series*, no. 35.

学会報告

- 梶谷真也, 「賃金と睡眠時間」, 日本経済学会春季大会.
- 菊入みゆき, 「モチベーション伝播に関する研究の現状と課題」, 産業・組織心理学学会第33回年次大会.
- 佐藤正市, 「ECCAS 自由貿易地域における貿易波及効果」, 日本アフリカ学会関東部会.
- 中田勇人, 青野幸平, 祝迫得夫, “Oil Shocks, Exchange Rate Shocks, and Japanese Stock Markets,” 日本金融学会秋季大会.
- Shinya Kajitani, “Use it Too Much and Lose Everything? The Effects of Hours of Work on Health,” The 22nd Eurasia Business and Economics Society Conference.
- Hayato Nakata, Vu Tuan Khai, “Oil and the Regional Economies in Japan: Analysis Using a VAR with Block Exogeneity,” Thirteenth Annual Conference of Asia-Pacific Economic Association.

社会活動

- 稲葉由之, 「国民生活基礎調査の非標本誤差の縮小に向けた研究会」構成員, 厚生労働省.
- 上原秀樹, 書評「内発的発展の道筋を問う」: 嘉数啓著『島嶼学への誘い—沖縄からみる「島」の社会経済学—』, 琉球新報 (2017年6月4日朝刊).
- 上原秀樹, NPO法人アジア近代化研究所, 理事・副代表.
- 白井雅子, 東村山市個人情報保護運営審議会, 会長.
- 白井雅子, 東村山市情報公開運営審議会, 委員.
- 白井雅子, 東村山市入札等監視委員会, 委員.
- 白井雅子, 相模原市情報公開・個人情報保護・文書管理審査会 第一部会, 部長.
- 菊入みゆき, 「モチベーションでバランスアップ」, 名古屋市立大学 男女共同参画推進センター・附属病院共催 特別講演会.
- 菊入みゆき, 「やる気スイッチを入れよう!」, 日本経済新聞社サイト 日経カレッジカフェ.
- 中田勇人・小林健太郎, 「八王子市実施事業にかかる経済波及効果の測定について」, 八王子市との連携事業.
- 波田野匡章, 「PBL等の問題解決型学修における自治体との関わりについて」, 第7回大学コンソーシアム八王子FD・SDフォーラム.
- Hideki Uehara, Editorial Board Member, *The International Society for Southeast Asian Agricultural Sciences*.

外部研究費

- 稲葉由之, 科学研究費補助金 基盤研究 (B), 「公的大規模データの利用におけるプライバシー保護の理論と応用」, 研究分担者, 2016年度~2018年度 (課題番号 16H02791).
- 庵原さおり, 科学研究費補助金 若手研究 (B), 「メディア報道と政策決定に関する政治経済学的研究」, 研究代表者, 2016年度~2018年度 (課題番号: 16K17138).
- 大石尊之, 科学研究費補助金 若手研究 (B), 「原子力災害に係る損害賠償の経済分析」, 研究代表者, 2017年度~2019年度 (課題番号: 17K13751).
- 大石尊之, 科学研究費補助金 基盤研究 (C), 「ゲーム理論における双対・反双対

- 性の基礎研究と応用」, 研究分担者, 2017 年度～2019 年度 (課題番号:17K03629).
- 梶谷真也, 科学研究費補助金 基盤研究 (B), 「親の就業・時間配分・考え方と子どもの人的資本形成に関する計量経済学的分析」, 研究分担者, 2016 年度～2020 年度, (課題番号 16H03607)
 - 金子優子・高橋朋一・小林健太郎, 科学研究費補助金 基盤研究 (C), 「公益法人を巡る改革が公益法人の活動に及ぼす影響の定量的分析・評価に関する研究」, 研究分担者, 2013 年度～2017 年度 (課題番号: 25380277)
 - 中田勇人, 祝迫得夫, 青野幸平, 科学研究費補助金基盤研究 (C), 「エネルギー価格・政策リスクと日本経済」, 研究代表者, 2017 年度～2019 年度 (課題番号: 17K03722) .
 - 盛本圭一, 科学研究費補助金 若手研究 (B), 「政策担当者のインセンティブと金融政策委員会のデザイン」, 研究代表者, 2016 年度～2018 年度 (課題番号:16K17122)

2016 年（教員名に*印がある業績は本学着任前の研究機関での成果）

論文・著作

- 青木一郎，『財政学（第2改訂版）』，学文社，1-199頁．
- 速水昇，和田尚久，水野恵子，奥村正郎，和田佐英子，青木一郎，竹腰友美『日本の財政と租税法』（執筆担当箇所：第5章「財政政策」），学文社．
- 石田和彦，稲垣誠一，稲葉由之，今井洋夫，勝浦正樹，加藤耕二，菊地進，桑原廣美，近藤登雄，西郷浩，齋藤敬一郎，佐々木仁，樋田勉，徳井丞次，長岡貞男，大戸隆信，星野光秀，山沖義和，山口幸三，山下泰弘，吉田嘉雄，今村由希子，和田澄子，和田弘，『統計でみる日本2017』（執筆担当箇所：第15章「労働・賃金」160-173頁），日本統計協会．
- 井上秀典，『持続可能な社会を考える法律学入門』，八千代出版，185頁．
- 井上秀典，「2020年以降の地球温暖化防止に関する法政策—パリ協定を中心に—」，『環境法研究41号』，有斐閣，5-22頁．
- 上原秀樹「フォルクスワーゲン社の不正問題とTPP交渉の分析」，『IAM アジア・レポート』第7号，58-64頁，アジア近代化研究所．
- 孫明月，上原秀樹，「中国における食料消費の変容—南北間の外食行動に関する比較分析を中心に—」，『IAM-e-マガジン』第17号(17)，52 - 69頁（アジア近代化研究所）．
- 矢野誠，古川雄一，小松原崇史，三好向洋，柳瀬明彦，藤生裕，佐藤健治，大石尊之*，Lioudmila SAVTCHENKO，秋山太郎，『市場の質と現代経済』（執筆担当箇所：第7章「仲介取引市場の経済分析」），勁草書房．
- 梶谷真也，鈴木史馬，『しっかり基礎からミクロ経済学—LQアプローチ』，日本評論社．
- 小野晶子，山内直人，馬欣欣，森山智彦，梶谷真也，古俣誠司，浦坂純子，石田祐，小田切康彦，『NPOの就労に関する研究—恒常的成長と震災を機とした変化を捉える—』，労働政策研究報告書 no. 183，（執筆担当箇所：第6章「高齢者のNPO活動開始年齢と活動への関与度」）．
- 児島秀樹，「経済史入門の手引き」『明星大学経済学研究紀要』第48巻第2号 51-62頁．
- 小林健太郎・金子優子・高橋朋一，「特例民法法人の収入金額・年間収入の分析—平成23年特例民法法人概況調査と平成24年経済センサス活動調査の個票を用いて—」『明星大学経済学研究紀要』第48巻第1号 61-70頁．

- 坂本秀夫, 「買物弱者問題の検討」『明星大学経済学研究紀要』第 48 巻第 2 号, 37-50 頁.
- 坂本秀夫, 『現代流通の諸相』, 同友館.
- 波田野匡章, 「アクティブ・ラーニング型授業の教育効果に関する考察 —「自立と体験 2」のアンケート調査から—」, 『明星大学明星教育センター研究紀要』第 6 号 83-96 頁.
- 波田野 匡章, 菊入 みゆき, 堀口 康太, 濱野 裕貴子, 御手洗 尚樹, 吉田 朋子, 「シンポジウム キャリア構築理論(Career Construction Theory)の現代的意義の検討:企業, 公的機関, 教育機関での適用と課題 (経営行動科学学会第 17 回年次大会)」, 『経営行動科学』28 巻第 3 号, 279-304 頁.
- 堀江優子, 「IFRS の公開草案「財務報告に関する概念フレームワーク」における財務情報の質的特性に関する検討—慎重性 (保守主義) の概念に着目して—」『商学論纂』第 57 巻第 3・4 号, 121-141 頁(中央大学商学研究会)。
- 堀江優子, 「資本取引・損益取引区分の原則に関する概念フレームワークの観点からの一考察」, 『青山経営論集』第 51 巻第 3 号, 75-86 頁(青山学院大学経営学会).
- 盛本圭一, 「内生的情報取得と情報公開の厚生効果」『明星大学経済学研究紀要』第 48 巻第 1 号, 51-59 頁.
- Iwaisako Tokuo, Hayato Nakata, “Impacts of Oil Shocks on Exchange Rates and Macroeconomic Variables: A multi-country analysis,” *RIETI Discussion Paper Series* 16-E-039.
- Takayuki Oishi*, Mikio Nakayama, Toru Hokari, Yukihiro Funaki, “Duality and anti-duality in TU games applied to solutions, axioms, and axiomatizations,” *Journal of Mathematical Economics* 63, pp. 44-53.

学会報告

- 梶谷真也, “Use It Too Much and Lose It? The Effect of Working Hours on Cognitive Ability,” 日本経済学会春季大会.
- 菊入みゆき, 「同僚の性別と立場がモチベーション伝播に及ぼす影響の検討」, 経営行動科学学会第 19 回年次大会. (共著).
- 菊入みゆき, 「ワーク・モチベーション理論は現場にどこまで役立つか —企業のモチベーション課題と解決への取り組み—」, 産業・組織心理学会 組織行動部門研究会. (共著)
- 小林健太郎・金子優子, 「公益法人改革前後の公益法人の活動状況分析 —行政記録

により作成したパネルデータを用いて-], 統計関連学会連合大会. (共著)

- 坂本秀夫, 「買物弱者問題の検討」, 日本商業施設学会関東部会.
- 佐藤正市, 「サハラ以南アフリカにおける地域経済統合の現状と問題点—EAC 関税同盟の制約要因を巡って—」, 日本アフリカ学会関東部会.
- Hayato Nakata, Vu Tuan Khai, “Oil Price Shocks and the Regional Economies: The Case of Japan,” Western Economic Association International 12th International Conference.
- Takayuki Oishi*, Gerard van der Laan, and René van den Brink, “An axiomatic analysis of joint liability problems with rooted-tree structure,” The 12th European Meeting on Game Theory (SING 12).

社会活動

- 稲葉由之, 「オーダーメイド集計・匿名データの作成および提供に関する検討会議」委員, 総務省.
- 稲葉由之, 「戦略的国際標準化加速事業: 産業基盤分野に係る国勢標準開発活動・ISO/TC69 (統計的方法の適用)」委員, 日本規格協会.
- 上原秀樹, NPO 法人アジア近代化研究所, 理事・副代表.
- 上原秀樹, Editorial Board Member, *The International Society for Southeast Asian Agricultural Sciences*.
- 臼井雅子, 東村山市個人情報保護運営審議会, 会長.
- 臼井雅子, 東村山市情報公開運営審議会, 委員.
- 臼井雅子, 東村山市入札等監視委員会, 委員.
- 臼井雅子, 相模原市情報公開・個人情報保護・文書管理審査会第一部会, 委員.
- 菊入みゆき, 「居心地のいい職場の作り方」, 東京医科大学ワークライフバランス推進講演会. (単著).
- 菊入みゆき, 「やる気スイッチを入れよう!」, 日本経済新聞社サイト 日経カレッジカフェ.
- 中田勇人・小林健太郎, 「八王子市実施事業にかかる経済波及効果の測定について」, 八王子市との連携事業.
- 濱田明子, 「所得税の仕組みについて」, 日野税務署及び本学 OB 税理士との連携を通じた学部生・院生による研究発表活動 (於 星友祭).
- Hideki Uehara, Editorial Board Member, *The International Society for Southeast Asian Agricultural Sciences*.

外部研究費

- 稲葉由之, 科学研究費補助金 基盤研究 (B), 「公的大規模データの利用におけるプライバシー保護の理論と応用」(研究分担者), 2016 年度～2018 年度 (課題番号 16H02791) .
- 庵原さおり, 科学研究費補助金 若手研究 (B), 「メディア報道と政策決定に関する政治経済学的研究」, 研究代表者, 2016 年度～2018 年度 (課題番号: 16K17138).
- 大石尊之*, 東京経済研究センター研究助成, 「労働市場における仲介組織の仲介組織の経済分析: 理論と政策的含意」, 研究代表者, 2016 年度.
- 梶谷真也, 科学研究費補助金 若手研究 (B), 「親の就業・時間配分・考え方と子ども的人的資本形成に関する計量経済学的分析」, 研究分担者, 2016 年度～2020 年度, (課題番号 16H03607)
- 金子優子・高橋朋一・小林健太郎, 科学研究費補助金 基盤研究 (C), 「公益法人を巡る改革が公益法人の活動に及ぼす影響の定量的分析・評価に関する研究」, 研究分担者, 2013 年度～2017 年度 (課題番号: 25380277)
- 中田勇人, Vu Tuan Khai, 全国銀行学術研究振興財団学術研究助成, 「石油価格変動が地域経済に与える効果の実証分析」, 研究代表者, 2016 年度.
- 盛本圭一, 科学研究費補助金 若手研究 (B), 「家計の異質性と消費税の効果に関する理論分析: 再分配とマクロ経済動学」, 研究代表者, 2013 年度～2016 年度 (課題番号: 25780174) .
- 盛本圭一, 科学研究費補助金 若手研究 (B), 「政策担当者のインセンティブと金融政策委員会のデザイン」, 研究代表者, 2016 年度～2018 年度 (課題番号: 16K17122).